

次世代型の口腔がん検診と

新たな病診連携のかたち



東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座

教授 野村 武史

歯科医療は、地域包括ケアの実現に向けて変革の時を迎えている。超高齢社会の時代に必要とされる歯科医師は、従来の病院完結型の医療から脱却し、多職種が協働してチーム医療を実践し食支援を通じた国民の健康に寄与することである。これからは、歯・歯周疾患だけでなく、口腔粘膜にも目を向けなければならない。口腔がんは、目に見える部位に生じるがんであるにも関わらず、他の良性疾患との鑑別が難しいため、今までは口腔外科医、あるいは頭頸部外科医の診断が必要であった。しかし、早期口腔がんをできるだけ効率よく発見するためには、多くの患者の口腔内を診察する歯科診療所で検診を実施すべきであると考えられる。また、早期がんを発見するだけでなく、その後の円滑な病診連携体制が確立していることも重要で、専門機関が即座に診察し、適時・適切治療を実施することにより初めて治療成績が向上する。また、早期がんの発見は、口腔がんの死亡率の改善だけでなく、QOLの向上、経済的な負担の軽減、ひいては国民医療費の削減が期待できるはずである。この観点から、今回私は、歯科医師による口腔がん検診の重要性と地域完結型医療の実現のため、口腔がん検診を介した病診連携の在り方について述べる。

1. 個別検診の普及と検診精度の向上を目指した取り組み

東京歯科大学口腔外科では、1992年より地域歯科医師会との病診連携の一環として口腔がんの集団検診を開始した。2013年までの21年間で延べ13,265人の受診者に対し口腔がん検診を実施し、口腔がんが11人(0.14%)発見された。これは5大がん検診の発見率と比べ遜色ないデータである。現在多くの歯科医師会で、集団検診から個別検診への移行が進められている。今後は、歯科医師の検診技術の均てん化を図ることが重要で、現在定期的な講習会やe-learningによる検診精度の向上に努めている。

2. 新しい口腔がんスクリーニング技術の開発

口腔がんを確定するためには、病理組織検査が必須となるが、侵襲的歯科治療であるため一般歯科診療所での普及は難しい。現在低侵襲な検査法として液状化細胞診の導入が全国で普及している。今後はさらに侵襲の少ないスクリーニング法の開発も必要である。現在我々は、非接触型の蛍光光学機器を用いた口腔がんスクリーニング法を開発し、早期発見システムへの導入を目指している。

3. 新たな病診連携、「バーチャル検診センター」システムの構築

検診現場とそれを統括するコントロールセンターをネットワークで連結する試みを行っている。東京歯科大学口腔外科では、2012年より一般歯科診療所がチェアサイドで入手し

た情報を web 上で公開し、口腔外科専門医からの意見を受け取ることができる「口腔がん検診ナビシステム」を導入した。2015年現在、全国13都府県で登録会員総数480名が参加し、現在まで682例の相談があり、2例の口腔がんが発見された。

口腔がん検診を行う目的は、国民の健康に寄与することにある。超高齢社会における地域包括ケアの一部として、次世代型の口腔がん検診と新たな病診連携を確立することが急務であると考えていえる。

野村 武史 (のむら たけし)

【略 歴】

- 1995年 東京歯科大学卒業
- 2000年 東京歯科大学口腔外科学第一講座 助手
- 2006年 東京歯科大学口腔外科学講座 講師
- 2009年 カナダ・ブリティッシュコロンビア大学歯学部
Oral Biological and Medical Sciences に客室研究員として研究留学
- 2013年 東京歯科大学口腔外科学講座 准教授
- 2014年 東京歯科大学口腔がんセンター 准教授
- 2015年 東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座 教授

【資格・学会活動】

- 日本口腔内科学会理事
- 日本口腔診断学会理事
- 日本口腔外科学会専門医・指導医(代議員)
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医(歯科口腔外科)・がん治療暫定教育医(歯科口腔外科)
- 日本口腔腫瘍学会暫定口腔がん指導医
- 日本口腔科学会 認定医・指導医

【主な著書 (分担書著)】

- 「薬剤・ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 MRONJ・BRONJ」
クインテッセンス出版(東京)
- 「オーラルメディシンに基づいた次世代の歯科診療」 クインテッセンス出版(東京)
- 「口腔がん検診どうするの、どう診るの 早期発見・早期治療を目指して」
クインテッセンス出版(東京)
- 「口腔内科学」 永末書店(東京)
- 「科学的根拠に基づくエナメル上皮腫の診療ガイドライン」 学術社(東京)
- 「1336専門家による私の治療」 日本医事新報社(東京)
- 「歯科 疾患名から治療薬と処方例がすぐわかる本」 クインテッセンス出版(東京)
- 「歯科における薬の使い方 2015-2018」 クインテッセンス出版(東京)
- 「口腔外科治療 失敗回避のためのポイント47 -口腔外科とは何か、どう治療するのか-」
クインテッセンス出版(東京)

女性歯科技工士は無敵だ!!

—『輝く女性を目指して』女性歯科技工士として—

公益社団法人日本歯科技工士会
女性活躍推進委員会委員

山下 茂子 (大阪府歯科技工士会所属)

藤 王 千 春 (北海道歯科技工士会所属)

徳 永 恵美子 (熊本県歯科技工士会所属)

第1部 『輝く女性を目指して』女性歯科技工士として

皆様ご周知の通り歯科技工士学校では、女子学生の比率が年々高くなり、歯科技工業界にとって女性歯科技工士の役割はますます重要となってきております。

そこで女性歯科技工士に長く歯科技工士を続けていただくために、これから訪れるライフステージ(結婚、出産、育児、介護 etc)で、どのようなライフスタイルを考え人生設計を立てていければよいかを、いくつかの例をお示ししながらお話させていただきます。

第2部 女性歯科技工士は無敵だ!!

— 経営者の皆さまへ 女性歯科技工士を長く雇用いただくために —

今年の4月、歯科技工業界に迎え入れた新卒歯科技工士は、全国で1,000名をきり、歯科技工士不足がますます深刻な問題となっております。

よって女性歯科技工士の活躍推進は、歯科技工業界にとってますます重要なファクターとなり、必ず進めて行かなくてはならない分野だと思っております。

そこで女性歯科技工士を長く雇用いただくために、女性歯科技工士雇用の利点や問題点の回避方法など、いくつかのキーポイントをご紹介します。皆様にお話させていただきます。

【経 歴】

山下 茂子 (やました しげこ)



1998年 新大阪歯科技工士専門学校 卒業

現 在 株式会社デンタルデジタルオペレーション 専務取締役

2008年～2011年 日本歯科技工士会理事

1999年～ 大阪府歯科技工士会各級役員等歴任

現在、大阪府歯科技工士会副会長

藤王 千春 (ふじおう ちはる)



1986年 北海道歯科技術専門学校 卒業

現 在 歯科医院勤務 2010年から同歯科医院でフリーランスとして働く

2004年～2008年 北海道歯科技工士会理事

徳永 恵美子 (とくなが えみこ)



1988年 熊本県歯科技術専門学校 卒業

現 在 歯科医院で歯科技工士として勤務 その後同歯科医院でトリートメントコーディネーターとして勤務する

2011年独立し人材育成を目的した「ツグミ」を設立、代表となる

1992年～2002年 熊本県歯科技工士会理事



ペリオドンタルメディシン最新情報 ～長寿社会の医療を担う歯周病学～

愛知学院大学 歯学部歯周病学講座
教授 三谷章雄

歯周病は本人が気づかないうちに重症化していることが多く、成人の8割以上が歯周病になっていると言われていています。また、歯周病は糖尿病・心臓血管疾患をはじめ、肺炎、早産、関節リウマチ、さらにはアルツハイマー病やがんなど様々な病気のリスクを高めると報告されており、歯周病の予防や治療はからだの健康を守るためにも非常に重要です。そういう時代となり、本気で歯周病を改善したいと思っている患者さんも増えたように思います。現在、我が国は超高齢社会となり、感染症を起こしやすい高齢者が急増しています。しかしながら健康寿命は平均寿命より10年短く、およそ10年間は寝たきりなどの状態であり、健康寿命を伸ばす方策が必要です。厚生労働省は運動や食習慣などを改善することで、健康寿命を1.6年以上伸ばすことを提案しており、しっかりした歯周治療を行う事もこの目標達成には重要と考えられます。こういった点で高齢者の歯周治療には非常に関心が高まっているわけですが、高齢者への治療という目前の問題を解決するだけでなく、将来的によりシンプルな高齢者治療を実現させる準備をしておく必要があります。すなわち、患者が20～30歳の時から歯科にて対応する体制を整え、もちろんそれに対応する歯周治療・予防歯科ができる歯科衛生士など歯科医療従事者を増やしていくことが、在宅をはじめとした高齢者治療を充実することと同時に重要となります。そのためには、本気で挑む歯周治療や歯周病予防をマスターする必要があります。

本講演では、ペリオドンタルメディシンの最新情報を提示させていただき、歯周病と全身疾患の関係に関する知識をアップデートしていただければと思います。また、歯周治療の根幹となる原因除去療法、つまり歯周基本治療について、患者さんにも理解しやすいシンプルかつ斬新な考え方を提案させていただきたいと思います。ご来場いただいた多くの歯科衛生士さんが本講演を聴いた翌日から歯科医師にリスペクトされ、患者さんにますます信頼されることを期待しつつ、ペリオ初心者にもわかりやすくお話ししたいと思います。

【略 歴】

- 1996年 愛知学院大学歯学部歯学科 卒業
- 2000年 愛知学院大学大学院歯学研究科修了 博士(歯学)
- 2000年 愛知学院大学歯学部助手(歯周病学講座)
- 2004年 愛知学院大学歯学部講師(歯周病学講座)
- 2007年 愛知学院大学在外研究員(Division of Immunology, Infection and Inflammation, University of Glasgow, Glasgow Biomedical Research Centre, 2008年まで)
- 2012年 愛知学院大学歯学部准教授(歯周病学講座)
- 2014年 愛知学院大学歯学部教授(歯周病学講座)
- 2016年 岡山大学歯学部非常勤講師(兼任)
- 2016年 新潟大学歯学部非常勤講師(兼任)

【主な学会活動】

日本歯周病学会常任理事・専門医・指導医、アメリカ歯周病学会(AAP)国際会員、日本歯科保存学会理事・専門医・指導医、日本口臭学会評議員・専門医、日本レーザー歯学会理事・専門医・指導医、日本再生医療学会会員、口腔インプラント学会会員、日本免疫学会会員、日本審美歯科学会会員、日本口腔衛生学会会員、国際歯科研究学会(ADR)会員

【最近の文献】

1. 患者さんに語る シンプル歯周治療 医歯薬出版 東京 2016
2. 今日の治療指針 2016年版－私はこう治療している－ 医学書院 東京 2016
3. 慢性疾患としての歯周病のアプローチ－患者さんの生涯にわたる QOL に貢献するために－ 医歯薬出版 東京 2014
4. 臨床歯周病学(第2版) 医歯薬出版 東京 2013
5. 最新の歯周外科手術をマスターしよう－基本から高度症例の応用まで－ 第一歯科出版 東京 2010.
6. Five-year clinical results for treatments of intrabony defects with EMD, guided tissue regeneration and open-flap debridement: a case series. Journal of Periodontal Research, 50: 123-130, 2015.
7. Regulation of type 17 helper T-cell function by nitric oxide during inflammation. Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America (PNAS), 108: 9220-9225, 2011.

①13:30~14:00 名南歯科貿易(株)

歯科技工のデジタル化

営業部 課長 中野 秀宣

近年、歯科技工分野でのデジタル化が目覚ましく進んでおります。

CADを使用した設計は、今やクラウン、ブリッジに留まらず、金属床や矯正模型の設計にまで及んでおります。

設計したデータをCAMや3Dプリンターを利用しどのように具現化するかまでお話しいたします。

②14:00~14:30 日本アイ・エス・ケイ(株)

訪問歯科について(新製品ポータブルユニットの説明)

日本アイ・エス・ケイ 営業部長 桜井 洋志

8月に発売した新製品、ポータブルユニットかれん EX の商品説明及び訪問歯科関係の商品説明をしたいと考えています。

③14:30~15:00 サンメディカル(株)

ファイバーポストコアのポイント + α

国内営業部 北村 強志

ファイバーポストコアのポイントと新製品の案内。

スーパーボンドで出来る症例。

④15:00~15:30 (株)ヨシダ

ヨシダ展示ブースの見所

部長 小澤 昌喜

ヨシダブースの見所と新商品を説明させていただきます。

⑤15:30~16:00 (株)松風

すぐ活かせる製品別ストロングポイント3点

(株)松風社員 中田 達也

今日、歯科市場には「新発売」として多種多様な製品が毎月のように出てきております。

歯科医師様、歯科衛生士様へカタログを手に

「何を伝えればいいのか？」

「どのように伝えれば理解いただけるのか？」

悩まれることもあると思います。

本講演では本日ブース内に展示している製品の中で、1製品に対し3点のストロングポイントをご紹介します。

①10:00~10:45 YAMAKIN(株)

新製品 TMR-MTA セメントの5つの特徴

YAMAKIN(株) 開発部 加藤 喬大

MTAセメント(ケイ酸カルシウム系セメント)は、抗菌性、封鎖性、生体親和性、硬組織誘導性などで優れた性質を有しており、薬事承認されている直接覆髄のほか、穿孔封鎖、逆根管充填などさまざまな用途に応用されている。しかし、MTAセメントは、従来の歯科用セメントと比べて粉末と水との練和が難しいことや硬化時間が長いことなどの課題がある。さらに、MTAセメントは臨床使用において経時的に黒く変色するという問題も報告されている。

本講演では、北海道医療大学と YAMAKIN 株式会社との共同研究により新開発された「TMR-MTA セメント」の5つの特徴について紹介させていただく。特徴①:球状シリカ微粒子を粉末に添加することでペーリング効果が得られ、粉末と水との親和性を大幅に改善している。特徴②:硬化が早く、充填後に水分補給がなくても十分に硬化するため、覆髄直後にグラスアイオノマーでの仮封も可能である。特徴③:本製品にはX線造影材として、黒変の原因の一つと言われている酸化ビスマスの代わりに、化学的に安定なジルコニア微粒子を用いている。特徴④:硬化後の圧縮強さは1日後約90MPaであり、1週間後約140MPaまで向上し、グラスアイオノマーに近似した強度が得られる。特徴⑤:使いやすさを重視し、2種類の包装形態(3g×1本、0.2g×3本)と2色(ホワイト、ライトアイボリー)をラインアップしている。

②10:45~11:30 (有)デンタルテクニカ

歯科医ができる睡眠時無呼吸症候群(SAS)の治療

医療法人宏和会 池尻歯科医院 医院長 池尻 良治

SASについては昨今テレビ・新聞等々で全身疾患との関係が報道している。日本歯科医師会雑誌3月号でもとりあげられた。2017年6月18日 9時 NHK スペシャル「睡眠負債が危ない」では、アルツハイマー・がんの原因と報道している。

睡眠時無呼吸による脳の低酸素状態も、認知症のリスクファクターの一つとして SAS を認める対象者のうち44.8%が認知症を発症している。これは、SASでない対象者の約2倍という発症率である。(カリフォルニア大学発)

厚生労働省は、地域医療計画に盛り込むべき重要な疾患として、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病の4大疾病に、2013年度より精神疾患を加えて5大疾病とした。5大疾病の中では精神疾患の患者数が最も多く、中でもうつ病は、高齢者で最も一般的な精神疾患である。うつ病と SAS はともに高血圧、心血管障害、糖尿病、高脂血症など生活習慣病とも密接にかかわることが知られている。

SASによる無呼吸低呼吸により、脳にアミロイドβが蓄積し認知症になる。実際に、SASではうつ病を合併している頻度が多い。初発うつ病の41%に不眠が先行しており、うつ病の再発時には56.2%に不眠が先行しているとの研究報告も出されている。

当院では簡易検査装置(ウオッチパット)を使用し患者さんの睡眠動態を観察している。全身疾患のある方には医科歯科連携の一環として病院などを紹介している。

③11:30~12:15 (株)クラーク

「擦って磨く」今の口腔ケアから新しい口腔ケアへの提案

クルン(株) 企画開発部長 中島 憲二

「歯ブラシ」は房楊枝から改良され、ブラシ部に豚等動物の毛を植毛した物を経てナイロンを使用した現状の形へと変化を遂げています。しかしながら「歯ブラシ」はその原形が出来て以来100年以上、毛の硬さ、配列、本数、カット等の様々な工夫が見られるものの、「擦って磨く」という概念はそのままです。「擦って磨く」現状のブラッシングは高度なテクニックが必要です。その難しさ故、磨き残しが多く発生しています。また力を込めすぎて歯肉の退縮、知覚過敏を招き、かえって口腔内の状態を悪くしています。一般の方はもちろん、ご高齢者、お子さん、障害をお持ちの方等の「歯磨き弱者」には高いハードルとなっている様に思えます。歯周病が増えた今、従来の常識にとらわれない新しい形状の歯ブラシによる口腔内の清掃を実現する時期と考え、回転形状のブラシを用いた新しい口腔ケアを紹介致します。

回転形状の歯ブラシですが、必ず「こんなブラシで磨けるの?」とご質問を受けます。説明を聞いて頂ければ、口腔内の汚れに対して毛先を直角に届け、除去していく効果に納得して頂ける事と思います。新しい口腔ケアをより多くの歯磨きの下手な方、ご高齢者、お子さん、障害をお持ちの方知ってもらえる様に我々は願っております。また同じく歯磨きにお困りの歯科矯正装置を装着されている方にも是非この口腔ケアを知って頂きその助けになればと思っております。

④12:15~13:00 (株)松風

松風ラボ用 CAD/CAM システムと連動したオーラルスキャナの活用

(株)松風 歯科技工士 吉田 圭佑

近年、デジタルテクノロジーの進化には目覚ましいものがあります。あらゆる分野に応用されており、デジタルテクノロジーは人々の生活に密接に入り込み、経済活動や医療現場にも欠かすことのできない時代を迎えています。

歯科業界でも同様に CAD/CAM や CT を中心としたデジタル機器が多数登場しましたが、平成26年4月に CAD/CAM 冠が保険収載されたことをきっかけに、特にラボサイドにおけるデジタル機器の導入が爆発的に進み、デジタルインフラは急速に発展しております。

そのような中、オーラルスキャナも、その流れに牽引されるように多数の機種が登場し、先生方から大きな期待や可能性、ご興味の声をいただいています。チェアサイドでの診察スタイルの変化や、提携先であるラボサイドとの連携など、期待の中に素朴な疑問は盛り沢山のようで、今後ますます注目され目が離せません。特に、オーラルスキャナの導入に当たっては、事前の受け入れ体制を含めてどのような準備が必要になってくるのか、どこまでの臨床に使用できるのか、などのより具体的な設備や機能性を含めた情報も欲しいところであると思えます。

そこで、今回は松風より発売されたオーラルスキャナ『TRIOS 3 (3Shape社)』を題材として、その概要および基本的な使用法、そしてソフトウェアを含めたシステムの全容、また有効的な活用法についてのご提案をさせていただきます。

⑤13:00~13:45 (株)モリタ

YDM・Gキュレット・スケーラー(est)シリーズの特徴・有意性・YDM製品の製造へのこだわり

(株)YDM 歯科衛生士 吉松 菜保子

今年創業70周年となるYDMの製品は、歯科医療の銅製小物で実績を築き上げてきており、全国の大学や専門学校・開業医の方々にお使い頂き沢山の支持を頂いております。

この度YDMでは新しいグレーシーキュレット・スケーラー(est)シリーズを株式会社モリタと共同開発致しました。今までのグレーシーキュレット・スケーラーに比べカッティングブレードの鋭さ・切れ味の持続を向上させました。また、グレーシーキュレットのブレードの先端を従来より短くし、歯肉縁下に対して挿入しやすくなりブレードコントロールがしやすくなりました。ハンドルにおいては好評を頂いているサクラ丸柄ハンドルにカラーリングを付け把持しやすくなっております。

その他、国内メーカーであるYDMにおいては材料であるステンレス鋼をグレーシーキュレット・スケーラーの特性に合わせて独自開発し、ステンレス鋼を硬くしなやか(折れにくい)にする焼き入れ工程も自社で行っております。

講演当日はYDMが自信を持ってお勧めするグレーシーキュレット・スケーラー(est)シリーズの特徴・有意性・YDM製品の製造へのこだわり等をご紹介させていただきます。

⑥13:45~14:30 日本アイ・エス・ケイ(株)

歯科訪問診療 今後の課題と展開

日本訪問歯科協会 広報担当理事 前田 実男

厚生労働省が示す在宅歯科医療の推進は、同時に患者さんや介護者が求めていることでもあります。今後さらに、多くの歯科医院が訪問診療に取り組まれるようになるでしょう。

一方、患者さんやご家族・介護事業所が訪問診療に求めるレベルは、10年前に比べずいぶん高度なものになってきています。以前は義歯の調整だけでもありがたがられていましたが、今では専門的口腔ケアから摂食機能療法、さらに栄養管理までが求められるようになりました。また在宅で療養されている独居の患者さんが増え、さらに認知症の患者さんの増加、インプラントを装着されている患者さんの増加など、訪問診療ではこれまで以上に治療が難しくなるケースも増えてくるのが予想されます。

このような中、訪問診療に取り組まれる方がどのような知識やスキルが必要になるのか、日本訪問歯科協会の会員の方から集めたデータをもとに、一般的な歯科医院が無理なく展開できる取り組み方をお話いたします。また、多職種連携を歯科医院から働きかけるための仕組み作りのヒントもご紹介します。

1. 訪問歯科の現状と将来
2. 介護事業所の算定する口腔関連の加算
3. 在宅への訪問診療の広め方
4. ケアマネジャーから多い質問・疑問
5. 多職種連携を歯科医院から働きかける仕組み
6. 歯科医院経営者からよくある質問

⑦14:30~15:15 ライオン歯科材(株)

メンテナンスの極意 ~臨床のヒント~

古畑歯科医院 歯科衛生士 波多野 映子

齲蝕や歯周病は『病原性バイオフィルム感染症』であると同時に、『生活習慣病』でもあります。治療が終了して一時安定した口腔内の状態が獲得できても、セルフケアが行き届かなかったり生活習慣が改善されなかったりすると再発、進行するという特徴を持っています。長期に渡って歯科治療の効果を維持するためにメンテナンスは欠かせません。

一方、診療室を訪れる患者さんの主訴はさまざまで、一般的な傾向として初診時には何らかの処置を希望しています。「歯が痛い」「歯がしみる」「詰め物が取れた」「歯肉が腫れた」「入れ歯の調子が悪い」など口腔内に関する異常や不具合を訴えて来院します。ところが、疾患がいったん治癒や快方に向かうと来院が滞る、セルフケアを怠ってしまう、痛いときだけ来る、リコールに応じないということは、不本意で残念なケースではないでしょうか。

予防やメンテナンスで継続して来院していただくためには、患者さんと私たちが共通の危機感と認識を持つことが大切です。患者さんには『感染症・慢性疾患・生活習慣病』の3つのキーワードを、なるべくわかりやすくお伝えします。そして、一人ひとりの患者さんに合わせたきめ細やかな対応が、安心感や満足感、信頼関係に繋がります。

本講演では、SPT、PMT、根面齲蝕のアプローチ、有病者の口腔ケアなど、メンテナンスにおけるポイントや臨床のヒントについてお話しさせていただきます。

⑧15:15~16:00 (有)ニューテック

半導体レーザー(波長:810nm)を用いたLLLTTによる口腔内の選択的殺菌術

樋渡歯科医院 院長 樋渡 盛晃(日本歯科医師会会員)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科予防歯科学分野の研究グループは口腔内の常在菌が歯周組織(歯を支える骨などの組織)の免疫機能を高めることを世界初めて明らかにし、米国歯周病専門雑誌「Journal of Periodontology」の7月号の電子版に掲載された。

従来の歯周病治療の殺菌・除菌方法は、用具を用いて細菌叢プラークを機械的に除去、或いは抗菌剤等を用いて除去するなどの方法が取られているが、常在菌の存在等にほとんど意識がなされていない現状がある。

演者はLLLTTを用いた抗菌光線力学療法を用い、口腔内の細菌を選択的に除去できる術式により数年前より常在菌を残し複合感染した細菌叢(バイオフィルム)を除去する方法を臨床に用い非常に良好な成果を残している。

歯肉溝或いは根管に、ICG(Indocyanine Green)を主成分とした陽電荷を持つ光増感剤を滴下し、波長810nm LLLTT照射(低出力レーザー0.3W程度)をする事で、負電荷の細菌叢と常在菌の電位差を利用、感染症対象の細菌叢のみを選択的に除去する選択的殺菌方法である。

歯周治療検査PPDで、従来の治療法では90日後の改善率2.37%であったものが、レーザー治療のみで47.23%、LLLTTを用いた抗菌光線力学療法では68.16%となるなど(出典:愛知学院大学歯学部歯周病学講座)、ここでは臨床上非常に有益な成果が得られているので臨床上の症例を交えて報告する。

愛知県歯科医学大会 ワークショップ

(一社)愛知県歯科医師会

地域保健部Ⅰ(母子歯科保健・学校歯科保健) コーナー 「地域保健部Ⅱ」コーナー
 「防災対策部」コーナー 「女性委員会」コーナー
 「ジェネリック医薬品・フレイル」コーナー 「リグロス®」コーナー
 「唾液検査」コーナー 「デンチャーケア講演会」

(一社)愛知県歯科技工士会

「テーブルクリニック」 「(一社)愛知県歯科技工士会カービングコンテスト優秀作品展示」
 「ADTAトレーニングセンター受講生作品展示」
 「技工士会員によるデモンストレーションモデル展示」

(公社)愛知県歯科衛生士会

(公社)愛知県歯科衛生士会学術大会「第12回会員ポスター発表」

東海歯科用品商協同組合企画講演

- 13:30 ①名南歯科貿易(株)「歯科技工のデジタル化」
 14:00 ②日本アイ・エス・ケイ(株)「訪問歯科について」(新製品ポータブルユニットの説明)
 14:30 ③サンメディカル(株)「ファイバーポストコアのポイント+α」
 15:00 ④(株)ヨシダ「ヨシダ展示ブースの見所」
 15:30 ⑤(株)松風「すぐ活かせる製品別ストロングポイント3点」

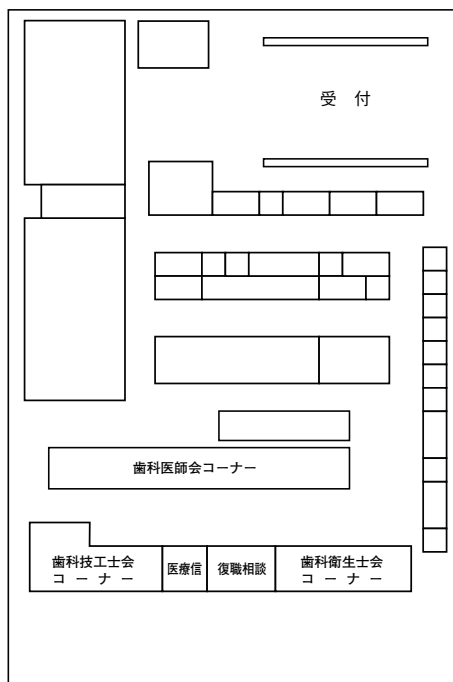
中部日本デンタルショー

「歯科に関する本なんでもコーナー」

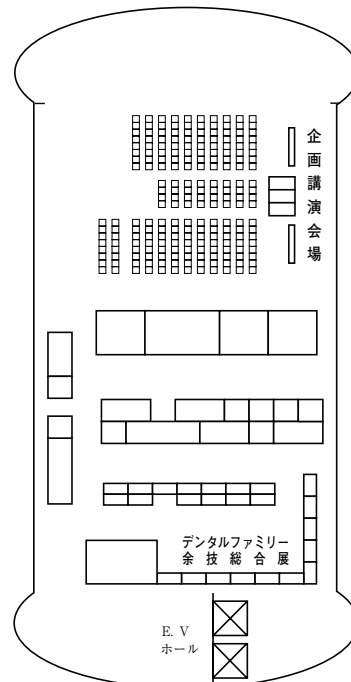
- ①(株)永末書店 ②東京臨床出版(株) ③(有)医学情報社 ④わかば出版(株)
 ⑤(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ ⑥(株)日本歯科新聞社 ⑦クインテッセンス出版(株)
 ⑧医歯薬出版(株) ⑨(一財)口腔保健協会 ⑩(株)デンタルダイヤモンド社

配置図

2階 第1ファッション展示場



3階 第2ファッション展示場



愛知県歯科医学大会 ワークショップ

(一社)愛知県歯科医師会

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 「地域保健部Ⅰ(母子歯科保健・学校歯科保健)」コーナー | 「地域保健部Ⅱ」コーナー |
| 「防災対策部」コーナー | 「女性委員会」コーナー |
| 「ジェネリック医薬品・フレイル」コーナー | 「リグロス [®] 」コーナー |
| 「唾液検査」コーナー | 「歯科衛生士復職支援」コーナー |
| 「開業相談」コーナー | 「デンチャーケア講演会」 |

(一社)愛知県歯科技工士会

- 「テーブルクリニック」「(一社)愛知県歯科技工士会カービングコンテスト優秀作品展示」
 「ADTAトレーニングセンター受講生作品展示」
 「技工士会員によるデモンストレーションモデル展示」

(公社)愛知県歯科衛生士会

- (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会「第12回会員ポスター発表」

東海歯科用品商協同組合企画講演

- 10:00 ① YAMAKIN(株)「新製品 TMR-MTA セメントの5つの特徴」
 10:45 ②(有)デンタルテクニカ「歯科医ができる睡眠時無呼吸症候群(SAS)の治療」
 11:30 ③(株)クラーク「『擦って磨く』今の口腔ケアから新しい口腔ケアへの提案」
 12:15 ④(株)松風「松風ラボ用CAD/CAMシステムと連動したオーラルスキャナの活用」
 13:00 ⑤(株)モリタ「YDM・Gキュレット・スケーラー(est)シリーズの特徴・有意性・YDM製品の製造へのこだわり」
 13:45 ⑥(株)日本アイ・エス・ケイ「歯科訪問診療 今後の課題と展開」
 14:30 ⑦ライオン歯科材(株)「メンテナンスの極意 ～臨床のヒント～」
 15:15 ⑧(有)ニューテック「半導体レーザー(波長:810nm)を用いたLLLTによる口腔内の選択的殺菌術」

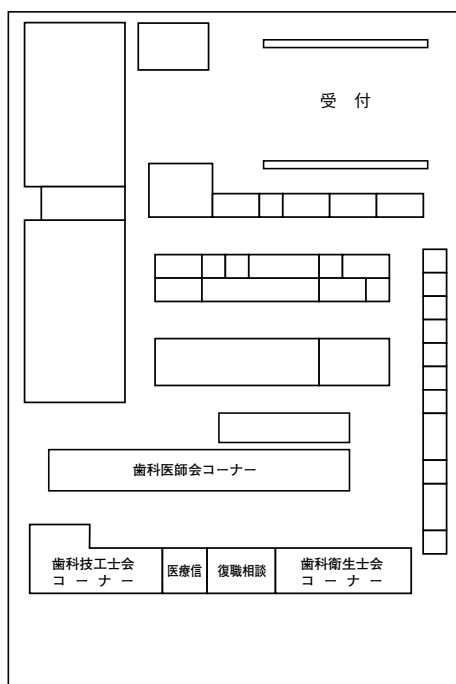
中部日本デンタルショー

「歯科に関する本なんでもコーナー」

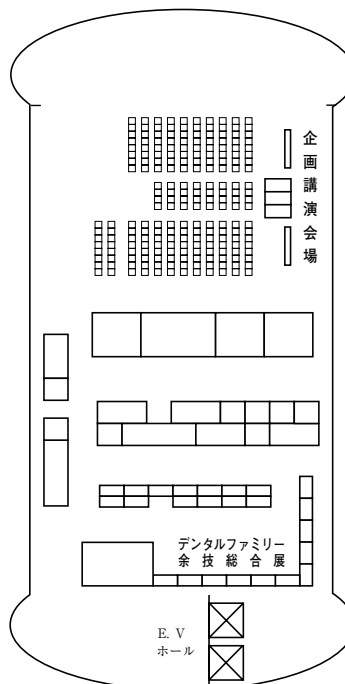
- | | | | |
|--------------------|-------------|-----------------|-----------|
| ①(株)永末書店 | ②東京臨床出版(株) | ③(有)医学情報社 | ④わかば出版(株) |
| ⑤(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ | ⑥(株)日本歯科新聞社 | ⑦クインテッセンス出版(株) | |
| ⑧医歯薬出版(株) | ⑨(一財)口腔保健協会 | ⑩(株)デンタルダイヤモンド社 | |

配置図

2階 第1ファッション展示場



3階 第2ファッション展示場



「地域保健部Ⅰ（母子歯科保健・学校歯科保健）」コーナー

<0歳児からの口腔機能育成>

身体とともに口腔の成長変化が大きな0歳児の口腔を育成するには、歯が萌出する前から歯科医師が関わるのが重要とされるようになってきました。今回0歳児からの口腔機能育成の取り組み方について紹介します。

<学校歯科保健「歯科健康診査基準の標準化に向けて」>

学校歯科保健は「保健教育」「保健管理」を適切に行うことにより児童生徒、職員の健康保持増進に努めることが大きな目的です。しかしその実現には家庭や地域との連携を緊密にする「組織活動」の充実が不可欠です。そのためには学校における歯科健康診査における検査基準の平準化を図り、地域のかかりつけ歯科医との連携を円滑に行うことも重要な課題です。そこで、「C、CO、G、GO」「不正咬合、不正歯列」等の検出基準についての統一を図るための展示を行いますので、ご来場いただければ幸いです。

<若い世代からの口腔ケア推進事業>

歯周病は成人期に増加するため若い世代が自ら定期的に口腔管理を行う習慣を獲得することが重要です。このため愛知県歯科医師会では愛知県からの委託事業として大学生の口腔状況を把握すると共に生活習慣調査を行い、今後の歯科施策の基礎資料を得るための事業を開始しています。

「地域保健部Ⅱ」コーナー

当会「障害者歯科認定協力医」の小児在宅歯科医療に対する意識調査

医科では小児在宅重症児を支える地域ネットワークづくりが始まっているが、歯科における在宅医療は主に要介護高齢者が対象であり、小児在宅重症児まではあまり普及していないのが現状である。そこで今回「障がい者歯科認定協力医研修」を修了した歯科医師238名を対象に小児在宅歯科医療について意識調査を行った。

今回の結果で小児在宅重症児への口腔ケアの必要性が高く認識されていることから、歯科在宅診療の対象を高齢者だけでなく、障がい児・者まで広げていく必要性が示唆された。

愛知県の在宅療養支援歯科診療所における訪問歯科診療機材の所有状況ならびに購入検討状況

愛知県の在宅療養支援歯科診療所(歯援診)の、訪問診療機材の所有状況を知るために質問票調査を行った。

全歯援診423施設中255施設から回答を得られた。口腔内切削が可能な機材保有率は65.5%、技工用切削が可能な機材保有率は92.9%であった。超音波スケーラーは40.4%、吸引機は42.0%、ポータブルX線撮影機は23.5%、嚥下内視鏡9.4%、パルスオキシメーターは80.7%、血圧計は79.6%の所有率であった。購入検討をしている診療所割合は、ポータブルユニットが26.7%で最も高く、ポータブルX線撮影装置14.5%、吸引機11.8%と続いた。

口腔ケアや摂食嚥下リハビリテーションよりも、切削治療の充実化を求める傾向が確認された。

「防災対策部」コーナー

阪神淡路大震災、中越地震、東日本大震災、熊本地震…そして南海トラフ沖巨大地震…

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますが、昨今の災害は短いサイクルで襲ってきます。地震災害に留まらず、地球温暖化による集中豪雨は前ぶれもなく瞬時に水害をもたらし、台風の勢力も旧来に増しています。落雷の頻度も以前より増えている感があります。このような自然災害は防ぐことができませんが、日頃より災害に対する備えを怠らないよう、イザという時のための準備をお願いします。防災対策部では防災訓練等で避難所での口腔ケア啓蒙活動や緊急歯科診療の訓練等を実施しております。また、「診療所の減災」に役立てていただけるよう「防災ガイド」を発行しておりますので、今一度、ご確認ください。

愛知県警察歯科医会では死因究明等推進計画に準拠して「身元確認捜査協力ガイド・マニュアル」を29年1月に発行し、確実な身元確認の一助となるよう各警察署に配備してあります。困難な現場ですが、身元不明者の個人識別は歯科医の責務です。正確な書類作成をお願いします。

「女性委員会」コーナー

愛知県歯科医師会が取り組んでいる託児、家事代行、介護サービスの支援、また出産時の会費免除システムをご存知でしょうか。

私たち女性委員会では、女性歯科医師が女性として、妻として、母として、キャリアを重ねている先生方が今後益々活躍して頂ける様なサポートづくりを考えています。また、2年に一度の女性歯科医師交流会と講演会を企画し、皆さんの交流やスキルアップ向上に役立てて頂けるような取り組みを考え、愛知県歯科医師会会長からの諮問に対する答申作りを行っています。

昨年は大山喬史先生（鶴見大学学長）と有馬牧子先生（東京医科歯科大学）をお招きし、「東京医科歯科大学におけるワーク・ライフバランス支援事業について」のご講演を賜り、その後の交流会では、皆さんと楽しいひと時を過ごすことができました。

この度、女性歯科医師の皆さんが活躍しやすい環境作りのために、現状どのような障害やお困りごとがあり、どのようなニーズがあるのかを把握することを目的としたアンケートを実施させて頂くことになりました。是非、お立ち寄り頂きお話を聞かせてください。お待ちしております。

「ジェネリック医薬品・フレイル」コーナー

共催：中北薬品(株)

近年、国民医療費の高騰と保険財政の崩壊の危機から、ジェネリック医薬品の使用が厚生労働省を中心に政府によって推奨されています。先発医薬品には、開発者の知的財産権を守るために、物質特許、製法特許、製剤特許、用途特許の4つの特許が認められていますが、ジェネリック医薬品は、最初の物質特許が切れていれば開発可能となり、薬の有効成分本体は同一です。しかし、まったく全てが同じ薬というわけではなく、製剤特許が切れていなければ、同じような添加物を加えることや同じ剤形を用いることができません。その結果、薬の効果や副作用発現率が変動する可能性があります。一方で、添加物を変えることで先発医薬品より飲みやすい製剤にすることも可能です。今回は、ジェネリック医薬品のメリット、デメリットや選択する際のポイントをご紹介します。

また、近年「フレイル」の予防が様々な場面でクローズアップされています。管理栄養士の立場から、フレイル、オーラルフレイルによって起こる栄養障害とその対策、フレイルチェック票の活用についてをご紹介します。

「リグロス®」コーナー

共催：科研製薬(株)

世界初の歯周組織再生剤 リグロス®歯科用液キット

「リグロス®歯科用液キット」は、世界初の「歯周組織再生医薬品」として2016年12月に新発売致しました。主成分は遺伝子組換え技術により大腸菌を用いて製造したヒト塩基性線維芽細胞増殖因子（bFGF、一般名：トラフェルミン(遺伝子組換え)）です。なおトラフェルミンは褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍）治療の医療用医薬品として、2001年より「フィブラスト®スプレー」の販売名で多くの患者へ処方されています。

bFGFの作用は、歯槽骨、セメント質及び歯根膜の新生並びに結合組織性付着の再構築による歯周組織の再生促進です。リグロス®の使用方法は、歯肉剥離掻爬手術（フラップ手術）において歯槽骨欠損部に塗布して頂き、歯槽骨を始めとする歯周組織の再生を促進します。

リグロス®のご購入に際して、施設の購入制限解除にはリグロス®ホームページ内のe-learning*もしくは弊社からの製品紹介受講が条件となっております。今回、リグロス®に関する製品紹介と展示を行いますので、製品紹介の受講もしくは展示場へお立ち寄りいただき、リグロス®の最新情報の入手と採用のご検討をよろしくお願い致します。

※リグロス®製品情報サイト：<http://regroth.jp/>

「唾液検査」コーナー

共催：ライオン(株)

唾液による総合的な口腔検査法のチェアサイドへの応用 — 多項目唾液検査システム (Salivary Multi Test) —

近年、口腔疾患の早期発見・早期治療だけでなく、積極的な予防が重要と考えられ、定期検診やメンテナンスを中心とした情報提供・患者管理型歯科医療への転換が求められています。

一方、簡便かつ非侵襲的に採取可能な唾液は、様々な疾患の検査試料として注目されており、歯科医師による口腔内検査に、唾液検査の客観性を加えることで、患者の理解向上、リスク予見が可能となります。

ライオン(株)では、唾液による総合的な口腔検査法のチェアサイドへの応用を目指し、歯の健康、歯ぐきの健康、口腔清潔度に関する6項目の唾液因子を5分間で測定できる多項目唾液検査システム Salivary Multi Test (SMT) を開発しました。

SMTの検査結果を患者とのコミュニケーションツールとして提供することで、インフォームドコンセントの確立、口腔衛生へのモチベーション向上に繋がり、集団健診でのスクリーニング検査として応用することで、予防管理や定期検診の推進および国民のオーラルヘルスプロモーションに貢献できると考えます。

本ブースでは、SMTの展示および有用性に関するエビデンスをご覧いただくと共に、実際にSMTによる唾液検査をご体感いただけます。また、講演にてSMTの詳細、学術エビデンス等についてご説明いたします。

「デンチャーケア講演会」

これからのデンチャーケア

グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン(株)
中部エリア スーパーバイザー 池山 善治

不潔な義歯が誤嚥性肺炎の一因となるデンチャープラークのたまり場となることから、義歯を清潔にすることの重要性が叫ばれ、本邦でも多くの関連報告がされるようになりました。しかし現場ではまだまだ不適切な例も見られます。そこで現在市販されているいくつかの義歯洗浄剤をオフィスケア、ホームケアの場合などに分けて紹介します。

高齢者の健康状態や置かれている立場は多岐にわたります。したがって高齢者というだけでひとくくりにすることは困難です。また、義歯が痛い、緩いという悩みも多いですが、必ずしも完璧に対応できる状況ではありません。

義歯安定剤を賢明に使うことで少しでも患者さんの不快感を軽減する事も一つの方法です。口腔ケアを自己管理できる方と他の方にゆだねざるを得ない方では対応が異なります。臨床の現場では、多岐にわたる患者さんのニーズにこたえる必要があります。これからのデンチャーケアに役立つアイデアの提供を予定しています。

実際の患者さんの声を交えながら、これからのデンチャーケアに役立つアイデアを考えていきたいと思えます。

「歯科衛生士復職支援」コーナー

< 歯科衛生士再就業支援事業について >

愛知県内では慢性的に歯科衛生士が不足しており、平成28年衛生行政報告例の結果では、都道府県別人口10万人対就業歯科衛生士数は、全国44位と厳しい状況が続いています（平成26年46位）。また、歯科診療所1か所あたりの歯科衛生士数は徳島県の2.53人に対し、愛知県は1.39人しかいません（非常勤も含む）。

愛知県歯科医師会医療管理部では平成23年より愛知県の委託を受け、歯科衛生士不足を解消するため、休職中の歯科衛生士さんの復職を支援する様々な事業を行ってきました。このコーナーでは、これらの事をより多くの人に知ってもらうため、歯科衛生士不足の現状と平成29年度の再就業支援事業についてのポスター展示を行います。ぜひお立ち寄りください。

「愛知県歯科衛生士バンク」つないでネット 登録のお願い！

平成28年10月愛知県歯科医師会のホームページに「愛知県歯科衛生士バンク」登録サイトを立ち上げ、登録いただいた方には、メールにて研修会や復職支援のご案内等を行ってきました。

平成29年11月新たに歯科衛生士さんと歯科医院をつなぐ情報サイト、「愛知県歯科衛生士バンク」つないでネットとして、ホームページのリニューアルを行いました。インターネットでいつでも、どこでも情報が得られ、スマホサイトでも、カムバック研修会の申し込み、復職相談、施設見学の申し込みが行えるようになりました。従来行っていた、登録者への定期的なメール配信も行っています。仕事をお探しの方は、愛知県歯科求人・求職サイトにアクセスすれば、求人情報検索、ネットで就職活動が行えます。また、求職者におすすめの求人情報をピックアップしています。歯科衛生士の資格のある方は、ぜひ登録していただき、メールにて役に立つ情報を手に入れて下さい。

今回立ち上げた愛知県歯科衛生士バンクつないでネットの円滑な運用に向けて、デンタルショーにご来場の多くの歯科衛生士の皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。

デンチャーケア講演会・唾液検査システム講演会・リグロス[®]講演会

(於：本館棟2F 第1ファッション展示場内 特設会場)

日	時 間	企 業 名	内 容
2月17日(土)	13:30～14:00	グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケアジャパン(株)	デンチャーケア
	14:30～15:00	ライオン(株)	唾液検査システム
	15:30～16:00	科研製薬(株)	リグロス [®]
2月18日(日)	9:30～10:00	グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケアジャパン(株)	デンチャーケア
	10:30～11:00	ライオン(株)	唾液検査システム
	11:30～12:00	科研製薬(株)	リグロス [®]
	13:00～13:30	グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケアジャパン(株)	デンチャーケア
	14:00～14:30	ライオン(株)	唾液検査システム
	15:00～15:30	科研製薬(株)	リグロス [®]

(公社)愛知県歯科衛生士会学術大会
「第12回 会員ポスター発表」

本会は歯科衛生士の資質向上を目的に研修事業や情報提供を行っております。この学術大会もそのひとつであり、会員の研鑽の場として、また歯科衛生士業務の多様化に伴う社会の要望に対応できる歯科衛生士を目指すべく、各々が取り組みを発表いたします。個々が目標を立て未来を見つめる有意義な場となるよう多くの歯科衛生士にご参加いただければ幸いです。

記

- 発表 平成30年2月18日(日) 10:30~12:00
ポスター掲示は歯科医学大会期間中となります。
- 会場 第1ファッション展示場
- 発表者および演題(共同演者につきましてはポスターを参照ください)
 1. 「当院歯科受診者におけるかかりつけ歯科定期受診の実態について」 北上 麻理子
 2. 「回復期病院における Oral Assessment Sheet (OAS) の作成」 山口 ひさ子
 3. 「地域歯科クリニックにおける訪問歯科診療の取り組み-現状と今後の課題-」
塚本 圭子
 - 「専門的口腔ケア対応人材育成研修 第12期生 症例発表」 石原 多実
 - 「専門的口腔ケア対応人材育成研修 第12期生 症例発表」 高橋 真美
 - 「専門的口腔ケア対応人材育成研修 第12期生 症例発表」 中邨 愛
 - 「専門的口腔ケア対応人材育成研修 第12期生 症例発表」 西 加年代

*発表時間内に会場にお越しの方に先着順に抄録をお配りします。

●要旨

1. 「当院歯科受診者におけるかかりつけ歯科定期受診の実態について」

○北上麻理子（愛知県がんセンター中央病院 頭頸部外科部（歯科））

近年、がん治療において歯科の役割が確立しつつある。当科では日々、がん支持療法に取り組んでいるが当科のみで歯科治療を完結できることは少なく、地域歯科診療所との連携は欠かせない。今回、当科初診時の患者に対し、かかりつけ歯科定期受診について実態を調べた。その結果から、がん治療における地域歯科診療所との連携について考察する。

2. 「回復期病院における Oral Assessment Sheet (OAS) の作成」

○山口 ひさ子（おざわ歯科クリニック）

当院が歯科訪問診療で介入するS病院（回復期140床）において、口腔ケアに関する意識調査を行った結果、①口腔内を評価する視点②口腔ケア技術を統一する必要性が示された。課題解決のため、S病院独自の口腔ケアシステムの確立を目的とした、口腔ケアワーキンググループ(WG)を設立し、①についてはS病院独自の Oral Assessment Sheet(OAS)を作成した。②については口腔ケア手順書を作成し、講習を行った。以上の活動状況を報告する。

3. 「地域歯科クリニックにおける訪問歯科診療の取り組みー現状と今後の課題ー」

○塚本 圭子（前田デンタルクリニック）

当院は、地域包括ケアが先進的に行われてきた地域に位置しており、積極的に訪問歯科診療と共に歯科衛生士の単独訪問を実施してきた。地域包括ケアの中に当院を定着させ患者の需要に対応出来るシステムの構築が必要と考え今回は、過去4年間に在宅へ訪問診療を行った患者の動向を調査し当院における現状の課題とその対応策について検討した。

* 「専門的口腔ケア対応人材育成研修 第12期生 症例発表」

これは、障がい者や高齢者など特別な支援が必要な方に対し、高い口腔保健支援ができる歯科衛生士を育成するための愛知県歯科衛生士会主催研修である（詳細は、愛知県歯科衛生士会ホームページ参照）。今年度は「ベーシック・Bコース（有病者・在宅コース）」受講生より課題報告をする。以下は本研修受講動機である。

○石原 多実

急性期病院の歯科口腔外科に勤務する歯科衛生士として、近隣病院での歯科衛生士の業務について学び、患者および病院に貢献する活動ができるようになることを目的に参加した。

特に職場では周術期口腔機能管理への期待を感じる。研修で全身疾患や治療への知識を深め、多職種連携について学び、質の高い患者支援を行えるようになりたいと考える。

○高橋 真美

慢性期の病院に勤務する歯科衛生士として、延命治療をせずその人らしく終末期を穏やかに迎えるように、患者に携わっていきたい。そのためには正しい知識をもって、個々の疾患に対応した口腔清掃、摂食嚥下機能評価・訓練、リスク管理が出来ることを目的とし当研修に参加した。

また他の病院での多職種との連携を学び、今後職場での連携システムの構築を目指したい。

○中邨 愛

歯科口腔外科を標榜していない一般病院で、病棟口腔ケアを中心に働く歯科衛生士として、急性期、回復期、維持期の様々な場面で、患者がどのように変化していくのか、一連の流れを理解することで、患者の健康を支援する歯科衛生士としての役割を明確にできると考え、本研修に参加した。

口腔ケアシステムの構築と円滑な多職種連携を目指し、患者の気持ちに寄り添った質の高い支援を行えるようになりたいと考えている。

○西 加年代

現在、介護施設や在宅に訪問し、高齢者の口腔ケアや摂食嚥下機能評価、訓練を行っている。日々の業務で患者・家族や施設スタッフの理解を得られているだろうかと不安に感じる場面を経験してきた。この状況を打開するため、臨床に直結する専門知識を身に付けることを目的に本研修を受講した。研修施設では患者や他職種に歯科衛生士の介入目的を明確に示す方法を学び、自分の業務の中で実践できるようになりたいと考えている。

17日(土) 午後2時

災害時にも使える「スプリント材」を利用した義歯の製作法

(一社)岐阜県歯科技工士会 小関 善士

日常生活においても、事故や転倒などで歯牙や補綴物を突然失うことがあります。地震や水害なども突然襲ってきます。深夜に災害に襲われると、入れ歯をなくされる方が多くなると聞きます。健康の維持や審美性も損なわれ、誤嚥性肺炎のリスクも増加する恐れがあります。緊急時に、迅速かつ簡便で装着感の良い義歯を製作することが重要になります。

主に顎関節治療等に使用されるスプリント材を義歯に応用したところ、良好な結果が得られました。今回、演者は歯科技工士の立場から簡単に製作でき、機能的にも十分満足できるパーソナルデンチャーにおける硬質スプリント材を利用した義歯の製作法を紹介いたします。

主な特徴として次のものが挙げられます。

- 製作が簡便で迅速に歯列の回復と咬合の回復ができる。
- 安価な材料や広く普及している機材を使用する。
- 金属製のクラスプやバーを必要としない。

スプリント材は応用範囲が広いので普段から身近に置いて、慣れておくことにより緊急時にお役に立てると思います。義歯の製作法に限らず、テンポラリー、矯正装置、床副子なども紹介したいと思います。

18日(日) 午前11時

歯科技工士会に入らないデメリット

(一社)愛知県歯科技工士会 歯科技工管理部

常務理事 今瀬 大輔

理事 山田 裕由

1. 背景

歯科技工士は高齢化が進み、目指す若者も減るばかり。今後の歯科医療で重要な役割を果たす職業が今、危機的状況となっています。これに気づいていながら何も行動を起こさない歯科技工士が多数います。誰かが何とかしてくれるものだと思い込んで…

2. 目的

歯科技工士会がなぜあるのか？

歯科技工士会がなぜ必要なのか？

歯科技工士会に入らないとどんなデメリットがあるのか？

歯科技工士会が過去解決してきた事例、今後解決していかなければならない事を紹介し、歯科技工士会に所属する事の重要性を訴えます。

3. 方法

もし歯科技工士会がなかったら？

もし歯科技工士会に入っていないなかったら？を想定して歯科技工士会の重要性を訴えます。

4. 結果

歯科技工士会に入らなければ、歯科技工士を業として行うのに必要な情報が入らなくなるばかりか、歯科技工士自体がなくなってしまう恐れがあります。

5. 結論

歯科技工士会に入らなければ、あなた自身ではなく、国民にとってもデメリットとなります。

愛知県歯科医学大会 生涯研修事業取得可能単位数

各団体主催の講演会・ワークショップ等に参加されますと下記単位を取得することが出来ますので、ふるってご参加下さい。各内容については該当ページをご参照下さい。

日本歯科医師会 特別研修に該当致します。(10単位)

【日本歯科医師会会員】 2月17日(土)

研修対象事業	研修コード	単位数	掲載ページ
「ワークショップ」 ・「地域保健部Ⅰ(母子歯科保健・学校歯科保健)」コーナー	2108	1単位	P.26
・「地域保健部Ⅱ」コーナー	2902	1単位	P.26
・「防災対策部」コーナー	2114	1単位	P.27
・「ジェネリック医薬品・フレイル」コーナー	2204	1単位	P.28
・「リグロス®」コーナー	2308	1単位	P.29
・「唾液検査」コーナー	2302	1単位	P.29
・愛知県歯科衛生士会(ブース全体)	2599	2単位	P.34
・愛知県歯科技工士会(ブース全体)	2207	2単位	P.36
「歯科に関する本なんでもコーナー」	2199	1単位	P.51
「中部日本デンタルショー」	3199	2単位	

2月18日(日)

研修対象事業	研修コード	単位数	掲載ページ
「愛知県歯科医学大会特別講演」	2705	2単位	P.12
「愛知県歯科技工士会企画講演」	2101	2単位	P.16
「愛知県歯科衛生士会企画講演」	2504	2単位	P.18
「ワークショップ」 ・「地域保健部Ⅰ(母子歯科保健・学校歯科保健)」コーナー	2108	1単位	P.26
・「地域保健部Ⅱ」コーナー	2902	1単位	P.26
・「防災対策部」コーナー	2114	1単位	P.27
・「ジェネリック医薬品・フレイル」コーナー	2204	1単位	P.28
・「リグロス®」コーナー	2308	1単位	P.29
・「唾液検査」コーナー	2302	1単位	P.29
・愛知県歯科衛生士会(ブース全体)	2599	2単位	P.34
・愛知県歯科技工士会(ブース全体)	2207	2単位	P.36
「東海歯科用品商協同組合企画講演」	3102	1単位	P.21①
	2805	1単位	P.21②
	3002	1単位	P.21③
	2605	1単位	P.21④
	3101	1単位	P.22⑤
	2907	1単位	P.22⑥
	2401	1単位	P.22⑦
	2503	1単位	P.22⑧
「歯科に関する本なんでもコーナー」	2199	1単位	P.51
「中部日本デンタルショー」	3199	2単位	

【愛知県歯科技工士会会員】

愛知県歯科技工士会生涯研修(自由課題) 5単位に該当いたします。

【日本歯科衛生士会会員】

愛知県歯科衛生士会企画講演を受講された場合は、日衛の生涯研修制度に登録されます。

第32回デンタルファミリー余技総合展によせて



愛 歯 余 技 ク ラ ブ
会 長 杉 山 乗 也

本年も愛知県歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーと同時に、デンタルファミリー余技総合展を開催いたします。第32回目を迎えることができましたことは出展者一同の誇りでもあり、これらの作品が歯科医学大会、並びに中部日本デンタルショーに華を添えることができましたら幸甚です。

この展覧会はその名の通り、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手、歯科材料商、歯学教育機関、メーカー、その他歯科関係の皆様と家族の余暇の作品を展覧いたします。過去には、日本画、油彩画、水彩画、水墨画、俳画、書道、彫刻、写真、陶芸、工芸、手芸、生花、魚拓、盆石、盆栽、ドライフラワー、アートフラワー、絵手紙等を展覧いたしました。今回も小品から時間をかけた大作まで、忙しい合間にこつこつと製作に取り組んだ作品を展覧いたします。

歯科医学大会にご参加の皆さまには是非とも余技総合展コーナーにお立ち寄り下さい。また18日（日曜日11:30～15:00）には茶席を設けます。ご観覧と共に「憩いの場」、「交流の場」としてご利用下さい。

デンタルファミリー余技総合展を催すにあたりまして、愛知県歯科医師会、愛知県歯科技工士会、愛知県歯科衛生士会、学校関係者、会場設営にご尽力いただきました、東海歯科用品協同組合をはじめ役員の皆様、そしてとりわけ出展者の皆様にこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

